T2R2 東京科学大学 リサーチリポジトリ
Science Tokyo Research Repository

論文 / 著書情報
Article / Book Information

論題	大学IRに必要なこと－目的・体制・スキル－
著者	森雅生
出典	researchmap シンポジウム2015, , ,
発行日	2015, 9

Powered by T2R2 (Science Tokyo Research Repository)

大学IRに必要なこと

ー目的・体制・スキルー

森　雅生 （東京工業大学 情報活用IR室）

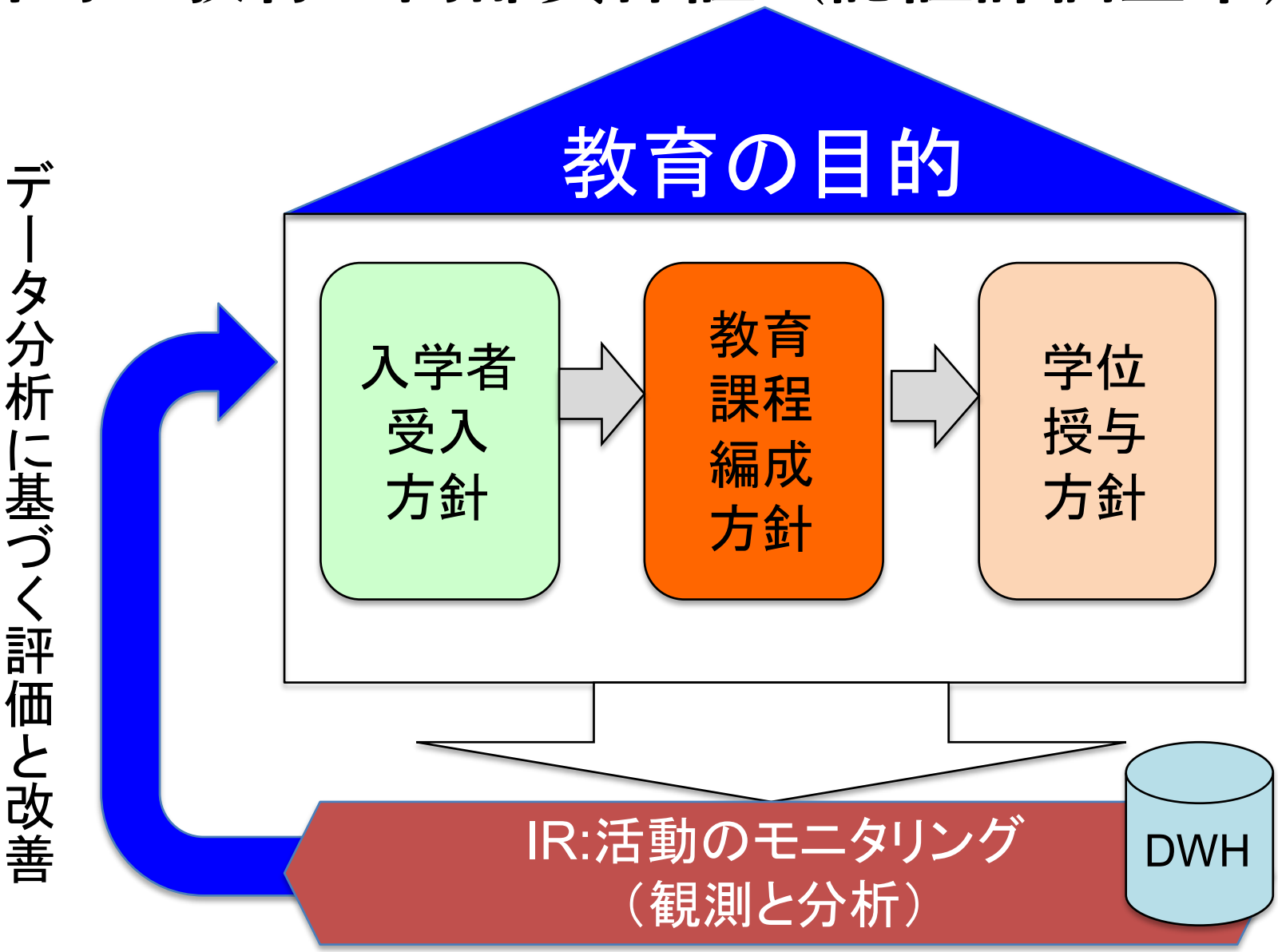
researchmapシンポジウム2015ー自らの強み・特色を知るために
～これからの大学IRとは？～

「機関の意思決定、計画策定に資する情報を提供すること」

Saupe (1990)

IRの目的

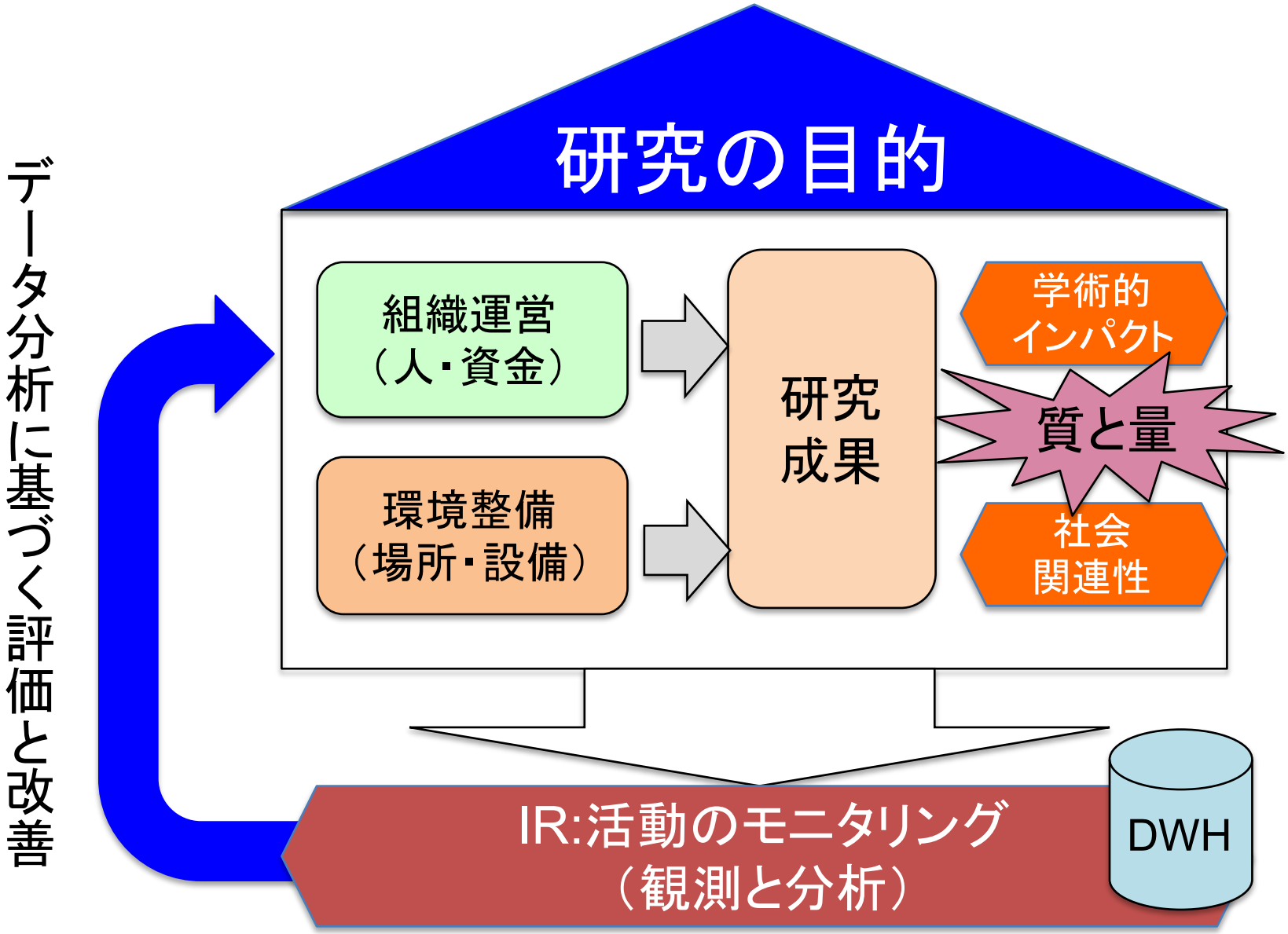
目的：教育の内部質保証（認証評価基準）



教育の内部質保証：分析の枠組み

出典：九州大学大学評価専門委員会資料より

目的：研究活動の質保証（質の向上）



研究の内部質保証：分析の枠組み

出典：九州大学大学評価専門委員会資料（九州大学 関口教授）より

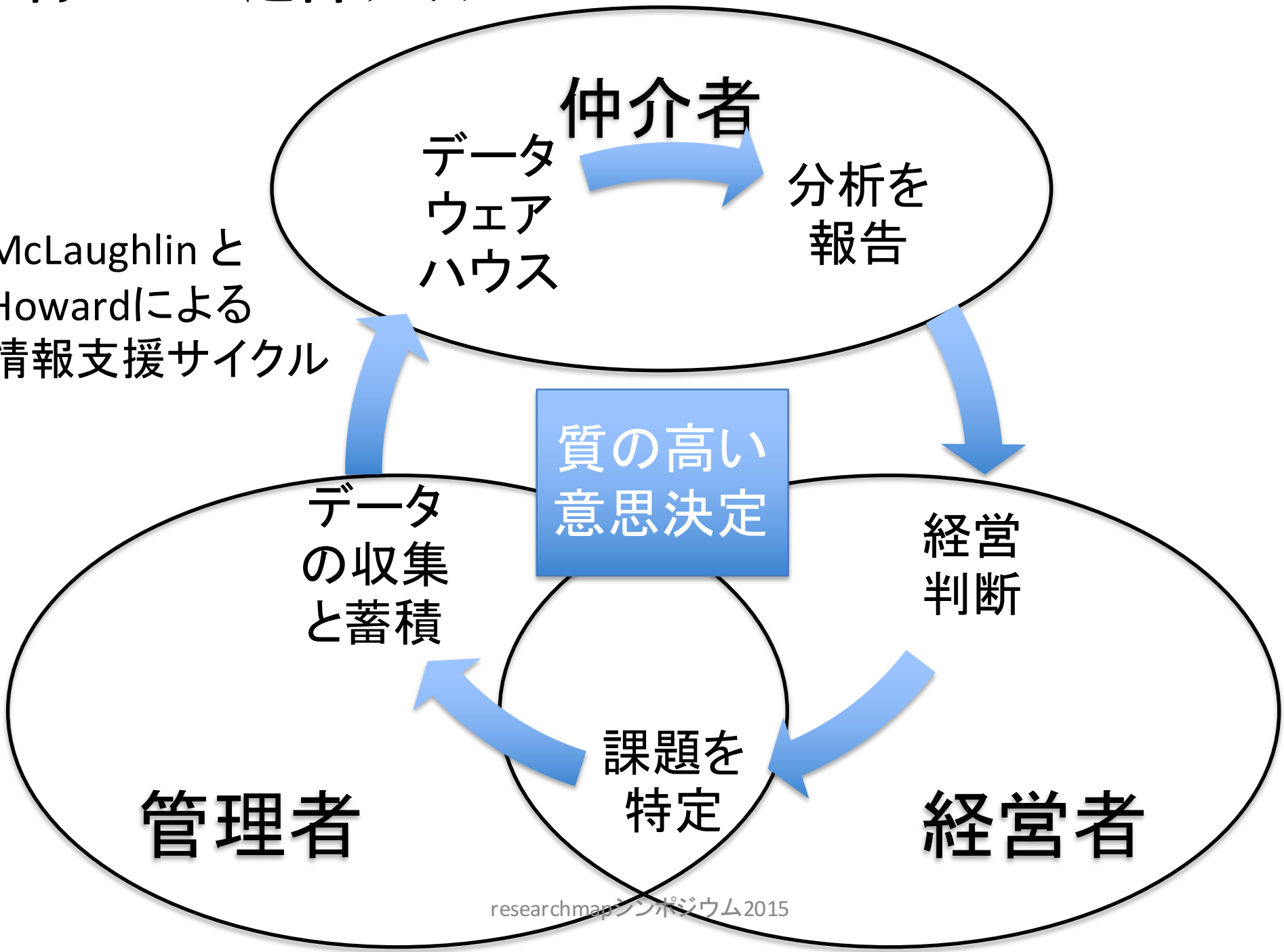
IRとITのユニット（または担当者）は必須で、それを統括する組織（またはディレクタ）がいます。

メリーランド州立大・IR director談

IRの体制

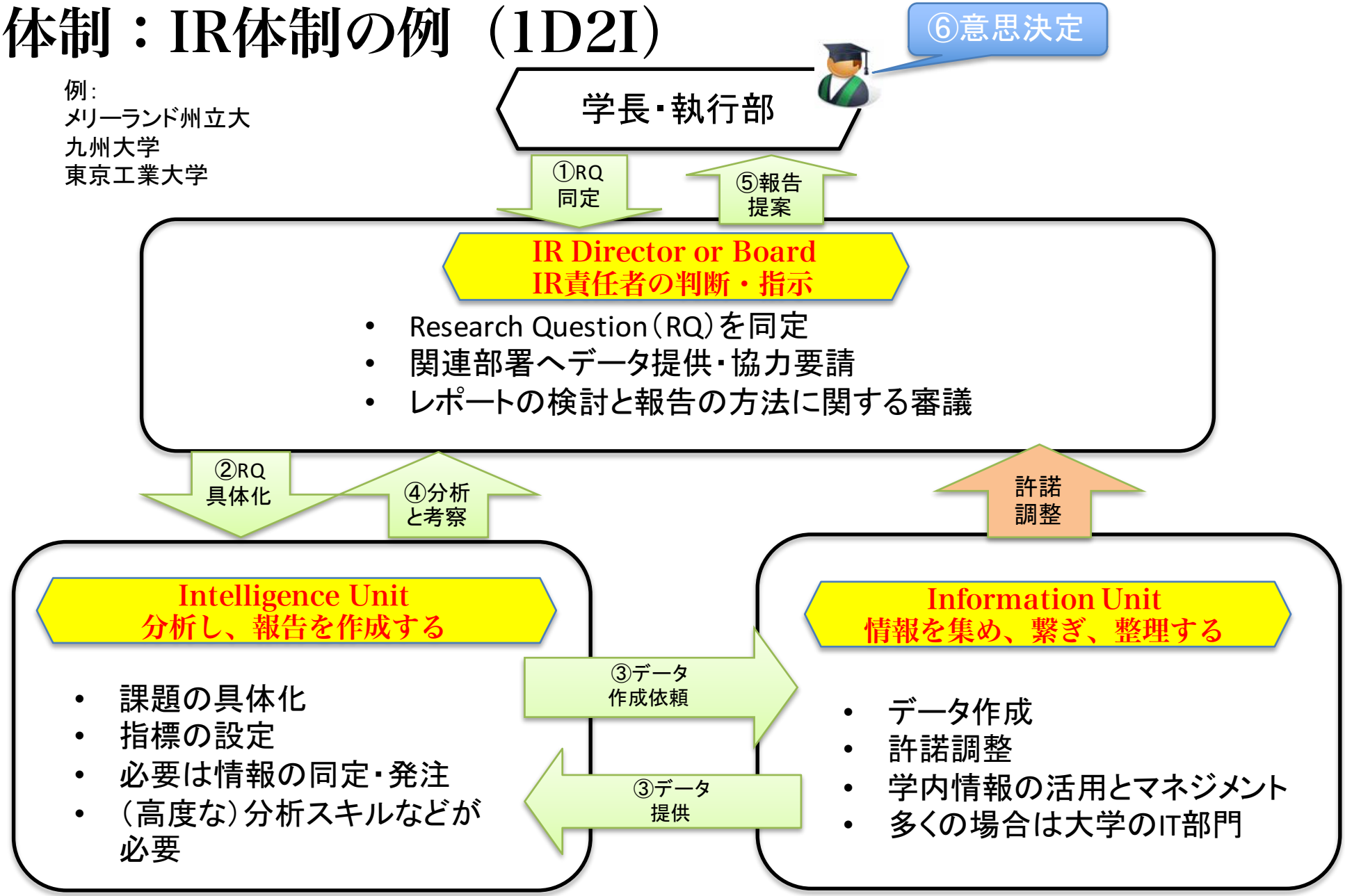
体制：IRの運営サイクル

McLaughlin と
Howardによる
情報支援サイクル



体制：IR体制の例（1D2I）

例：
メリーランド州立大
九州大学
東京工業大学



コンピュータサイエンス、数学、統計、データマイニング、可視化、そして
依頼者との課題の共有

—データサイエンスに必要なスキル

IRのスキル

スキル：大学情報の分類例

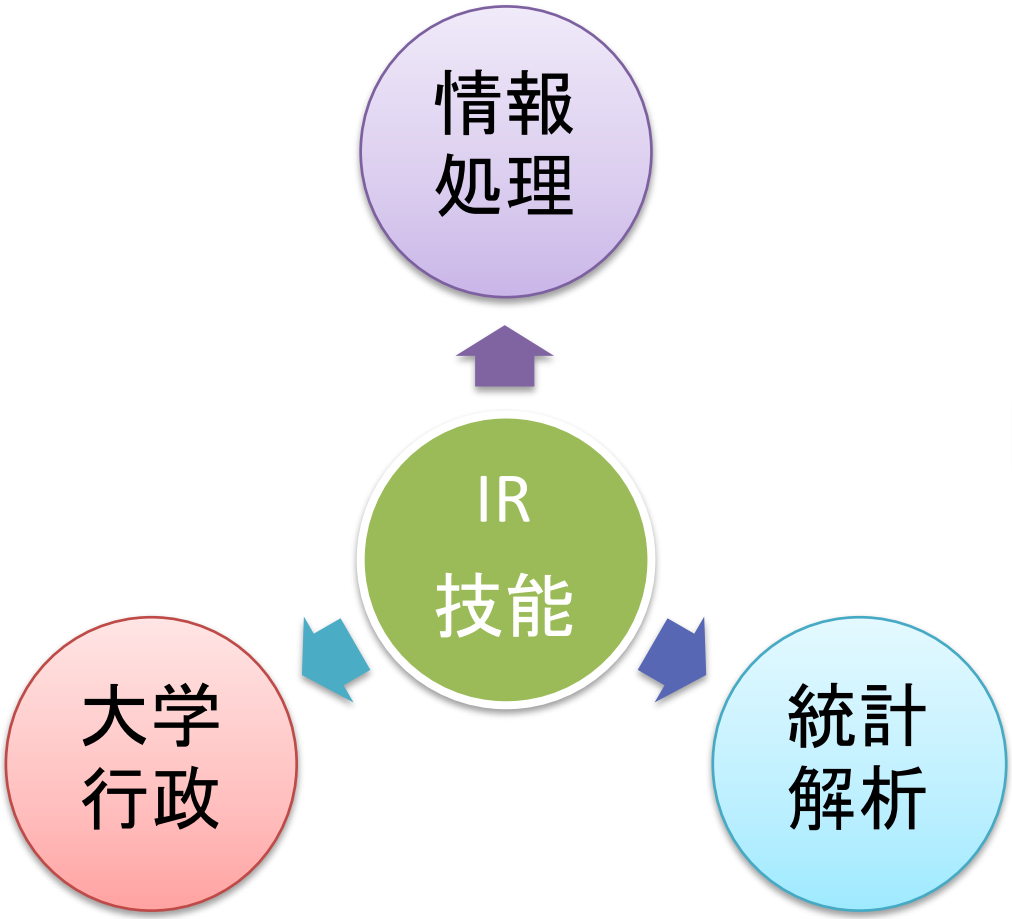
	未構造情報（テキストデータ）	構造化情報（数値データ等）
個別情報（担当者無）	• 研究室や教員個人HP • 教員個人による活動記 • 論文などの研究成果物	• 教員データベース • シラバス • 授業評価アンケート
組織情報（担当者有）	• 学則、内規 • 委員会資料 • 大学評価の各種報告書	• 成績データ、学籍データ • 人事データ • 研究資金データ

スキル：期待される技能

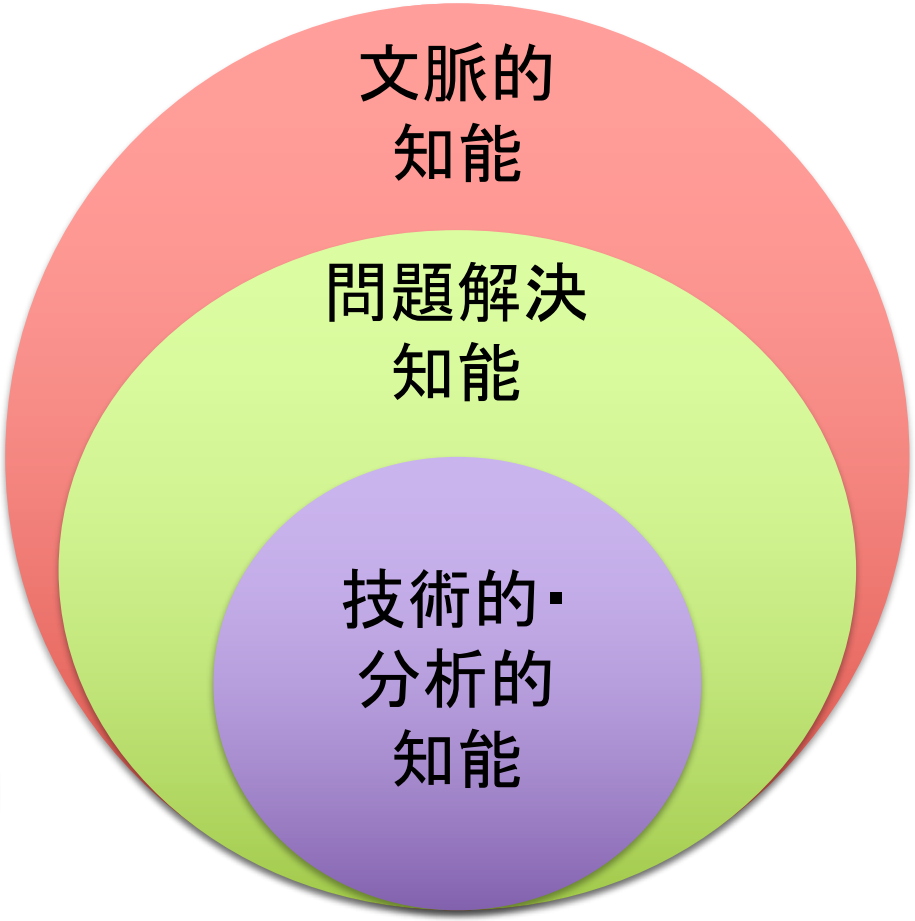
3つの層 （P.T.Terenzini 1993）

- Technical/Analytical Intelligence（技術的分析的技能）
  - 高等教育機関や研究機関で用いられる用語や組織統計の理解。
  - 分析集計に必要なソフトの理解。
- Issue Intelligence（問題解決技能）
  - 組織における課題の理解。
  - 分析調査と課題の解決方法の提案。
- Contextual Intelligence（文脈的技能）
  - 組織の文化に対する深い理解。
  - 「誰に提案すれば、実質的な解決に導けるか。」

スキル：IRに必要な技能や知識



データサイエンスに必要な技能



Terenzini の3つの層

大学IRの発展のために

- 国際会議

5th International Conference on Data Science and Institutional Research 2016

July 10-14, 2016 | 熊本市

http://www.iaiai.org/conference/aai2016/dsir-2016/

- 研究集会

第5回 大学情報・機関調査研究集会（MJIR2016）

2016年7月11-12日（予定） 熊本市

http://mjir.info/